

Ⅱ章 - 3 . 活動

親睦・交流【みんなでつながろう】

住民みんなが住みやすい地域は、多くの住民の協力があってはじめて継続していくものです。そのため、日頃から住民同士のつながりを強めることが大切です。

地域のつながりの必要性

一昔前は強いつながりのもとで、生活にかかわる多くの部分を住民同士が共同で行ってきました。しかし現在は、経済が豊かになり、社会環境や人々の価値観、生活スタイルも大きく変化しています。これにより、子どもが被害にあったり、子育てに関する相談相手がいなくて悩んだり、一人暮らしの人の孤独死など、さまざまな問題が生じています。

地域のつながりは、福祉や環境、防犯や防災、文化など、地域に住むために欠かせないものを育み、住みやすい地域をつくることにつながる、大切なものです。



親睦を深める・交流する

自治会等では、さまざまな行事を通じて地域の住民のコミュニケーションを図っています。また、集会所などを活用しているところもあります。

各種行事でつながる

お祭りやスポーツなどさまざまな行事を通じて、親睦や交流を図ります。(P. 39 参照)



集まってつながる

集会所などで定期的集まり、顔の見える関係づくりを行います。活動の打ち合わせ以外に、世間話ができる場を設けるのも効果的です。(P. 38 参照)



情報をお知らせしてつながる

身近な地域の情報を、回覧板や掲示板でお知らせしていくことで、同じ地域に住んでいるという意識を啓発します。(P. 32 参照)



他の団体と交流する

地域が抱える課題について、自治会等の中だけでなく、色々な団体と情報交換や話し合いを重ねることで、解決への糸口が見つかることも多くあります。何事も限られた団体内だけで行うよりも、さまざまな団体と一緒にやる方が効果的です。

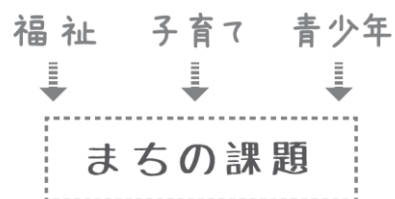
近隣の自治会等と交流する

近隣の自治会等と一緒に行事を開催する場合があります。例えば、近隣の自治会等と集会所などに集まり、合同の会議や、講座・セミナーを開催するなど、交流している地域もあります。



NPO と交流する

NPO は福祉・子育て・青少年教育・多文化共生など、テーマごとにノウハウを持ったメンバーが居住地域に関係なく「まちの課題」を解決するために活動しています。そのため、地域の活動を補完する専門性や、若い力が集まっています。



知 恵 袋

つながりをつくるひと工夫

住民が自主的に楽しく参加できる場があれば、地域の親睦はより深まるでしょう。自治会等の内部に交流の場を設けている事例を紹介します。

◆サークルでつながる

囲碁同好会や演歌同好会などのサークル活動を行っている自治会等があります。サークルは、自分たちの趣味、関心に基づいて集まります。サークル本来の自主性を損なわないよう、自治会等がどのように関わるかを検討しましょう。

例えば、サークルを登録制にして会員による運営と位置付け、自治会等の活動と連携しているところもあります。



◆参加自由の場につながる

サロンや座談会など気軽に参加できる場を設け、集会所などで開催している自治会等もあります。

地域のなかで交流しようと思っても、知り合いに誘われなければ、なかなか参加しづらいものです。世間話ができるような気軽な場を月に〇回と決めて設けることで、交流を広げ、自治会等の活動につなげています。

